

今年度大テーマ《食育活動を通して、食への興味関心・食べることへの意欲を高めよう！》

今回のテーマ：そら豆の感触や匂いを感じてみよう

【活動内容】

- ① そら豆を見る、触る、匂いを嗅ぐ
- ② サヤを開けて中を見ている
- ③ サヤからそら豆を取り出す
- ④ 給食で「そら豆のサラダ」として提供する。

まめがでてきた!



おいしそうだな



ちょっとこわい…



【活動中の子どもの姿・子ども同士や保育者との関わり】

- ・サヤを振ったり、豆をサヤから出したり戻したり、個々に自由に触れ楽しんでいました。
- ・最初はサヤからどのように豆を取り出せばよいのかわからなかった子ども、自らサヤを強く握ってみたり、振ったり叩いたりしながら、そら豆に触れる中で豆の取り出し方を学んでいた。
- ・そら豆のワタのふわふわとした感触を指先で楽しんでいました。

【振り返り・振り返りによって得た先生の気づき】

- ・0歳児は実際に触れるのは嫌がっていたが、他のお友だちの活動の様子には興味をもって見ていたので、まずは活動を見ることで、食育に興味をもてるようにしていく。
- ・発達段階と月齢に合った活動内容だった。
- ・活動前に豆に関する絵本を読んだり、そら豆の手作り玩具で豆を取り出して遊んだりした為、活動にも興味関心をもち取り組むことができていた。
- ・給食で出てきたそら豆と活動で触れたそら豆が子どもたちの中で一致していなかった。給食前に活動の様子の写真を見せてあげることで、『自分でとった物』ということを理解できるようにし、『食べてみたい』という気持ちに繋げていく。